

令和2年度(2020年度)

小学校生活科用

「あたらしい せいかつ」 評価計画資料 【1年(上巻)】

令和2年(2020年)2月14日版

※单元ごとの配当時数，主な学習活動，評価規準などは，今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

単元名	がっこう だいすき		教科書のページ	上 p.1～26
配当時数	20 時間	活動時期	4～5 月	学習指導要領の内容 (1)

単元の目標	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と自分との関わりを見付け、学校生活を支えている人々や友達のことが分かるとともに、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりすることができるようにする。
-------	--

単元の評価計画

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	学校探検や通学路探検を通して、学校での生活はさまざまな人や施設と関わっていることに気付いている。	学校探検や通学路探検を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々と、自分との関わりを見付けている。	学校探検や通学路探検を通して、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりしようとしている。

小単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	がっこうのことがしりたいな	5時間	
	[知技] 学校の施設の位置や使い方に気付いている。	[思判表] 幼児期の教育で使っていた施設との共通点を探しながら、学校の中を歩いている。	
	みんなとなかよくなりいたいな	3時間	
	[知技] 学校の友達の存在やよさに気付いている。		[態度] 友達と学校生活を過ごすことの楽しさを実感し、一緒に遊びや学習をしようとしている。
	ともだちとがっこうをたんけんしよう	3時間	
	[知技] 学校の施設の特徴に気付いている。	[思判表] 友達の行った施設の情報と自分の思いを照らし合わせて、探検に行きたい場所を選んでいる。	
	がっこうにいるひととなかよくなる	4時間	
	[知技] 学校にいる人々の働きや役割に気付いている。	[思判表] 自分との関わりを思い描きながら、学校にいる人に話したり質問したりしている。	[態度] 学校のことを知りたいという思いをもち、何度も行ったり、人に聞いたりして調べようとしている。
	がっこうでみつけたことをつたえよう	3時間	
[知技] 自分の学校での生活はさまざまな人や施設の働きに支えられていることに気付いている。		[態度] 自分の学校生活がさまざまな人や施設に支えられていることに安心感をもち、これからも遊びや生活をしていこうとしている。	
みんなでつうがくろをあるこう	2時間		
[知技(習慣や技能)] 登下校では、安全に気を付けて行動している。	[思判表] 自分の登下校時の様子を思い起こし、安全を守る人々の願いについて話している。	[態度] 自分の登下校が、安全を守る人や施設に支えられていることを実感し、自分でも安全に登下校をしようとしている。	

単元名	きれいに さいてね		教科書のページ	上 p.27～39
配当時間	8 時間	活動時期	5～9 月	学習指導要領の内容 (7)

単元の目標	植物を継続的に栽培する活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみを持ち、大切にしようとするができるようにする。
-------	--

単元の評価計画

単元 の評価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物への親しみを持ち、大切にしようとしている。

小 単 元 の 評 価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	たねを まこう 2時間		
	[知技] たねの色や形、大きさなどの特徴に気付いている。	[思判表] 幼児期や日常での経験に思いを巡らせて、育てる植物を決めたり、たねのまき方を決めたりしている。	
	せわを しよう 1時間		
	[知技] 自分の育てている植物が成長していることに気付いている。	[思判表] 友達の育てている植物や身近な植物と比較しながら、世話の仕方を選んでいる。	[態度] きれいな花を咲かせたいという思いを持ち、試行錯誤しながら植物の世話をしようとしている。
	はなの ようすを つたえよう 2時間		
	[知技] 自分が世話をしたことで、植物がきれいな花を咲かせたことに気付いている。	[思判表] 植物の成長の様子に見通しをもって、開花への期待を話したりかいたりしている。	
	たねを とろう 3時間		
	[知技] 植物が一つのたねからたくさんたねを増やし、生命をつないでいることに気付いている。		[態度] 植物の世話を続けられた自分の成長を実感し、これからも植物を育てていこうとしている。
	あきにも そだてよう 配当時間外		
	[思判表] 春から育てた植物との共通点や相違点を探しながら、秋から育てる植物を選んでいる。	[態度] 春から植物を育てられた自分の成長を実感し、秋にも育てていこうとしている。	

単元名	なつが やって きた		教科書のページ	上 p.40～56
配当時数	8 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要領の内容 (4) (5) (6)

単元の目標	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価計画

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付いている。	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けている。	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとしている。

小単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	こうていで くさばなや むしを さがそう 2時間		
	[知技] 動植物や風、光の特徴など、校庭の自然の様子に気付いている。		[態度] 校庭の自然と関わりたいという思いをもち、全身を使って夏の動植物や自然の特徴を探そうとしている。
	みんなの こうえんで あそぼう 3時間		
	[知技] 公園は、いろいろな人が使う場所であることや、利用方法やきまりが存在していることなどに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 屋外での活動に際し、熱中症対策や手洗いなど、病気の予防に努めている。		
	みずで あそぼう 2時間		
	[知技] 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりして、遊びを創り出すことの面白さに気付いている。	[思判表] これまでの経験から、自分のおもちゃの動きや遊び方を想像し、いろいろな遊びを楽しんでいる。	[態度] 夏の自然と関わりたいという思いをもち、いろいろな遊びを繰り返し、夏の自然を楽しもうとしている。
	あめあがりの こうていを たんけんしよう 配当時間外		
	[知技] 天候の変化に合わせて、身近な自然の様子に変化することに気付いている。	[思判表] 晴れの日と雨の日の自然の様子の変異点を探しながら、雨上がりの校庭を探検している。	
	たのしかった ことを つたえよう 1時間		
[知技] 夏の自然の特徴を生かして遊ぶことの楽しさに気付いている。		[態度] 夏の自然を生かして自分たちで遊びを創り出す楽しさを実感し、これからも身近な自然で楽しく遊ぼうとしている。	

単元名	いきものとなかよし		教科書のページ	上 p.57～65
配当時数	6 時間	活動時期	9 月	学習指導要領の内容 (7)

単元の目標	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所や、変化の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることに気付くとともに、動物への親しみを持ち、適切な世話をし、大切にしようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価計画

単元 の 評 価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、生き物への親しみを持ち、大切にしようとしている。

小 単 元 の 評 価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	むしを さがそう 3時間		
	[知技]校庭の虫の特徴や育つ場所に気付いている。	[思判表]これまでの経験から世話の仕方を想像し、世話の仕方を決めている。	
	むしと なかよくなるう 3時間		
	[知技]虫が変化していることや、生命をもっていることに気付いている。	[思判表]餌やりや掃除などをしてしながら虫の様子を観察し、虫に合わせた世話をしている。	[態度]虫の様子に応じて世話の仕方を変えることの大切さを実感し、これからも生き物を大切にしようとしている。
みんなで どうぶつを かおう 配当時間外			
[知技]小動物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。	[思判表]小動物の立場に立って世話の仕方を決め、世話をしている。	[態度]小動物が生命をもっていることを実感し、生き物に親しみを持ち、大切にしようとしている。	

単元名	たのしい あき いっぱい		教科書のページ	上 p.66～82
配当時数	21 時間	活動時期	9～11 月	学習指導要領の内容 (5) (6)

単元の目標	秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してついたり、身近な自然の違いや特徴を見付けたりすることができ、自然の様子や四季の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価計画

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることの面白さ、自然の不思議さに気付いている。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、身近な自然を使って、遊びや遊びに使う物を工夫してついたりしている。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、自分の生活を楽しくしようとしている。

小単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	こうていで あきを さがそう 3時間			
	[知技]色や形、においなど、秋の校庭の自然の様子と、夏の校庭の自然の様子との違いに気付いている。	[思判表]幼児期や日常の経験を思い起こして、秋の自然の特徴を探している。		
	こうえんで あきを さがそう 3時間			
	[知技]身近な自然の様子が、夏から秋になって変化していることに気付いている。	[思判表]秋の自然の変化を予想して、夏の自然との違いを探している。		
	はっぱや みで あそぼう 3時間			
		[思判表]秋の自然物を使うと、どんな遊びになりそうかを想像しながら、遊びに使う自然物を選んでいる。	[態度]秋の自然と関わりたいという思いをもち、試行錯誤しながら、秋の自然を生かした遊びを楽しもうとしている。	
	あきの ことをつたえよう 1時間			
	[知技]季節によって楽しめる遊びが変わるなど、季節によって生活の様子が変わること気付いている。		[態度]季節を生かして遊ぶことに楽しさと手応えを感じ、これからは季節の遊びを楽しもうとしている。	
	あきの おもちゃをつくろう 7時間			
[知技]いつも同じ現象が起こるなど、自然の中に一定のきまりがあることに気付いている。	[思判表]さまざまな自然物を試しながら比べ、材料を選び、おもちゃをつくっている。			
いっしょに あそぼう 4時間				
[知技]自分が遊びを創り出したことで、みんなが楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。		[態度]自分で遊びを創り出す面白さを実感し、これからは遊びを創り出そうとしている。		
[知技(習慣や技能)]みんなで創				

	った遊びをする際に、遊びのルールを守っている。		
--	-------------------------	--	--

単元名	じぶんで できるよ		教科書のページ	上 p.83～91
配当時数	12 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容 (2)

単元の目標	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の家庭生活を振り返り、家庭生活を支えている家の人のことや、家の人によさ、自分でできることなどを見付け、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとすることができるようにする。
-------	---

単元の評価計画

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭での生活は互いに支え合っていることに気付いている。	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、家庭における家の人のことや自分でできることなどを見付けている。	家庭生活について、調べたり、尋ねたりすることを通して、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようとしている。

小単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	じぶんの いちにちを みつめよう 3時間		
	[知技] 家庭において、自分が家の人に支えられていることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 家庭において、自分の生活のリズムを整えている。	[思判表] 自分の生活と比較しながら、家の人々の生活を見たり聞いたりしている。	
	じぶんで できる ことを しよう 6時間		
	[知技] 家の人には、それぞれに果たしている仕事や役割があることに気付いている。	[思判表] 自分が家庭で役割を果たしている姿を思い描き、家で取り組むことを決めている。	[態度] 家の人々の役に立ちたいという思いをもち、試行錯誤しながら、家庭での自分の役割を果たそうとしている。
	これからも つづけよう 3時間		
	[知技] 自分自身が家庭を構成している大切な一人であることに気付いている。	[思判表] 活動前の自分と今の自分を比較して、できるようになったことを話している。	[態度] 自分が家庭の役に立っていることを実感し、これからも自分の役割を果たしていこうとしている。
むかしから つたわる あそびを たのしもう 配当時間外			
[知技] 地域の人と関わったり触れ合ったりすることのよさに気付いている。			

単元名	ふゆを たのしもう		教科書のページ	上 p.92～104
配当時数	9 時間	活動時期	1 月	学習指導要領の内容 (4) (5) (6)

単元の目標	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、遊びの面白さや自然の不思議さ、身近な自然の様子、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価計画

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	冬の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付いている。	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、公共物や公共施設のよさを感じたり働きを捉えたりしている。	冬の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れたり、公園など身の回りの公共施設を大切に利用したりして、自分の生活を楽しくしようとしている。

小単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	こうていで ふゆを さがそう 2時間		
	[知技] 校庭の自然の様子が、冬になって変化していることに気付いている。	[思判表] これまでに関わった校庭の様子と比較して、冬の自然の特徴を探している。	[態度] 季節の自然と関わりたいという思いをもち、冬の特徴を生かして楽しく遊ぼうとしている。
	ふゆの こうえんに いこう 3時間		
	[知技] 公園には、自分たちが気持ちよく使えるように、支えている人々がいることに気付いている。	[思判表] 自分の生活と、公園や公園を支えている人々とのつながりを思い描き、支えている人と話したり質問したりしている。	
	そとで あそぼう 3時間		
	[知技] 自然の現象の中に、一定のきまりがあることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] おもちゃづくりに際し、道具や用具の準備、片付け、整理整頓ができています。	[思判表] 自然現象を生かしたおもちゃで繰り返し遊び、原因を探りながらおもちゃを改良したり、遊びを発展させたりしている。	
	ゆきや こおりで あそぼう 配当時間外		
		[思判表] 雪や氷の特徴を生かした遊びを何度も繰り返し、友達と遊びを発展させている。	[態度] 雪や氷を使って楽しく遊べることを実感し、季節の自然を生かして自分の生活を楽しくしようとしている。
	ふゆの ことをつたえよう 1時間		
[知技] 季節に合わせて、自然の様子や生活の様子が変化していくことに気付いている。		[態度] 季節の変化に合わせて身近な自然の様子や生活の様子が変わることを実感し、これからも季節に合わせて自分の生活を楽しくしていこうとしている。	

単元名	もうすぐ2ねんせい		教科書のページ	上 p.105～114
配当時数	18時間	活動時期	2～3月	学習指導要領の内容 (8)(9)

単元の目標	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分自身の成長や、役割が増えたことに気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと、進級への期待感や意欲をもって生活しようとするようにすることができるようにする。
-------	---

単元の評価計画

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさや、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付いている。	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、1年前の自分と今の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりしている。	入学してからの1年間を振り返ったり、年長児と関わりを深めたりする活動を通して、これまでの成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。

小単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	あたらしい1ねんせいをしょうたいしよう 7時間		
	[知技]新しい1年生と関わることのよさや楽しさに気付いている。	[思判表]新しい1年生の気持ちを想像し、新しい1年生との関わり方を決めている。	[態度]新しい1年生に喜んでもらえるように、学校のことを分かりやすく伝えようとしている。
	しょうたいしたことをはなしあおう 2時間		
	[知技]自分でできるようになったことや、自分の役割が増えたことなど、自分の成長に気付いている。		[態度]新しい1年生に喜んでもらったことを実感し、これからも関わっていこうとしている。
	いちねんかんをふりかえろう 3時間		
	[知技]友達と仲良く遊べるようになったことなど、自分の内面的な成長に気付いている。	[思判表]入学した頃の自分と、今の自分を比較して、自分のできるようになったことを探したり、実際にやってみたりしている。	
ありがとうわたしたちのきょうしつ 6時間			
[知技]自分の成長は、周囲の人々に支えられていることに気付いている。	[思判表]自分の成長と、周囲の人々の存在を関連付け、支えてくれた人々がいることについて話している。	[態度]周囲の人々に支えられ、自分が1年間成長してきたことを実感し、2年生への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。	